

県外派遣報告書

審判員名	山岸 大輔	所属	高体連		
大会名	平成25年度 関東高等学校男子バスケットボール大会				
期間	平成25年6月1日(土)・2日(日)				
会場	千葉県船橋市総合体育館				
スケジュール					
期日	内容	場所			
5月31日(金)	審判会議	船橋市総合体育館			
6月1日(土)	関東大会1・2回戦	船橋市総合体育館			
6月2日(日)	関東大会準決勝・決勝	船橋市総合体育館			
会議 講義 内容					
<p>審判会議におけるレクチャーは山梨の小澤 勤氏。今大会・今シーズンの目標は何か考えてもらいたい。1ゲーム1ゲームを大切に、公正・公平にゲームを進めて無事に終わるように。それが信頼される審判であるということ。信頼される審判になるためには何が必要か。ルールの理解と的確な運用、審判の約束と習慣の共通理解(マニュアルの理解)はどうか。4原則についても一度考えてみるように。我々は(個々で)審判としての任務を最大限の努力をして果たさなくてはならない。またゲームをスムーズに運営するためには2(または3)人の協力が不可欠である。お互いが助け合ってゲームをより良い方向にすること、とのことでした。</p> <p>2日(日)朝のレクチャーは神奈川の清水 幹治氏。「オンザコートにおいて注意すべきこと」と題して、具体的な話をいただいた。具体的には、①バックコートにおけるトレイルの追従に関して、②オールコートにおけるトレイル・リードの協力に関して、③トレイルからのペネトレイトに関して、④ドライブに対するスペースウォッチングに関して、⑤プレイを見に行くということに関して、⑥ソフトセンタリングとファインセンタリングに関して、でした。最後にルールブックのまえがきから、「審判は～すべての人に信頼されなくてはならない」とお話いただきました。</p>					
実技					
担当試合	期日	6月1日(土)	男子 女子	男子	
	対戦カード	八千代松陰(千葉)	VS	東海大甲府(山梨)	主審 副審
	相手審判	貫井 義昭(東京)			
ミーティング内容		主任		高橋 信次(群馬)	
<p>リードに関して、コーナーからのショットにはもう1歩行って、スペースウォッチングと次のリバウンド等への備えを。トレイルに関しては、グッドジャッジではあるが、少し遠い位置からの判定であることがあるので、ゴールに向かってペネトレイトを。オフェンス仕掛けのプレイの見極めを。フェの鳴っていない時間帯のメンタルはどうであったか、確認を。</p>					
全体の感想					
<p>今、自分の課題が「悪いものは悪いと毅然と鳴らす」、「位置の悪いところからは判定せず、常に良い位置を求めて動き判定する(ファウルではない、ということの確認を繰り返す)」でした。やはり試合でもその部分のアドバイスをいただきました。また、小澤・清水両氏のレクチャーに、自分が今取り入れて実践したい事項が多々ありました。今回、埼玉県代表として派遣していただいたにも関わらず、反省の残るコート上での実践でしたが、これを県内に持ち帰り、少しでも成長した自分を皆様に見せられるように今後も頑張りたいと思います。千葉県の方々には大変お世話になりました。</p>					